

患者さまへ

「全身麻酔下末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入の臨床的意義:成人消化器外科手術での中心静脈カテーテル代替可能性」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023年1月～2025年9月に当院消化器外科の手術にて全身麻酔で中心静脈カテーテルを留置された患者さま
2 研究目的・方法	<p>目的:当院手術室で全身麻酔を行い手術を受けた患者まで、心臓の近くに位置する中心静脈カテーテルを留置された成人消化器外科症例を対象に、診療看護師(NP)が施行した末梢挿入型中心静脈カテーテル群と麻酔科の医師が施行した従来の中心静脈カテーテル群の手技時間・留置期間等を比較し検証します。成人消化器外科領域での術中での腕から挿入する中心静脈カテーテルの使用例は報告がなく、本研究がその先駆的な検証となることを目指しています。</p> <p>データ収集方法:電子カルテ麻酔記録よりデータを取得致します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2026年1月予定)後～2026年10月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があつた時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除外しない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	カテーテル留置に要した時間・カテーテル使用期間・感染の有無・年齢・性別・BMI・基礎疾患・病名・術式・手術中に使用した血圧を上げる薬の使用有無・PICCを挿入する際の腕の血管の太さ等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>香田嶺(研究責任者) 名古屋徳洲会総合病院看護部 麻酔科 診療看護師(NP) 住所:愛知県春日井市高蔵寺町北2丁目52番地 連絡先:0568-51-8711</p>